

聖化

日本聖化交友会機関誌

No. 13

'92.4.30



「聖霊のこえる如くせよ」

基督聖協団千葉教会牧師

谷中 さかえ

聖霊のあることすら知らなかった（使徒19・2）私は、昭和五年柏木聖書学院に入学。圧倒的な祈りの霊の注ぎの中で「万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために心を整え身を慎みなさい」（第一ペテロ4・7）のみことばにとらえられて祈り、遂に明確なきよめの体験を受けました。数刻後に「今より我は主なり」（イザヤ43・13 文語）の聖霊のあかしをもって私のうちに宿りたもう聖霊が、平安、希望、喜び、信仰、祈りの霊となって私を変えてくださいました。

その年の秋期聖会において、人格をもって働きたもう聖霊にまのあたり出会いました。中田重治先生を始め委員の先生方が大会準備のため、数日すべてから離れ山奥で祈られました。帰院された先生方を門まで出迎えたとき、そのお顔は輝きの中にも緊張と沈黙がただよい、これは重大な大会になるのではないかと一同ふるえ上りました。その時の標語が「聖霊のこえる如くせよ」でした。講壇の前には「霊政復古、唯崇聖霊」が掲げられ、聖霊を崇めることがこの聖会の主題でした。これは中田先生の新作聖歌（四一四番）となつて大会中大いに歌われ、今もなお私は歌い続けております。

集会が進むにつれ、講壇の先生方は遂にその下に降りられ、座ぶとんなしで土下座し、今まであまりにもないがしろにされていた聖霊に対して涙の悔改めがなされ、むせびつって祈り出されました。会衆も一つとなつて泣いて共に祈り出し、その光景は実にすさまじいものでした。こうしてリバイバルの火は燃え上つてきたのです。ある教授が祈られた祈りは、今も私の心を打つのです。「私は聖霊を押しつけて自分で説教を作っていました。私の説教集を献げます」と……。この集会は実に型破りの集会でした。その証しは率直な、きびきびしたワンセンテンスのものでした。古木に火がつかしました！炭がらが燃え出しました！全き愛を受けました！失った火をもう一度受けました！信仰に革命がきました！等々 JHAの働き、そして集会にもさらに御聖霊が崇められ、御霊御自身が躍動し、祈りと讚美の霊に燃やされていくことを私は期待して祈らせていただきます。

世界の情勢が一変してきたこの終末の時代、全ききよめの体験を宣証しつつ、時代の見張り人として前進しようではありませんか。

聖会第一夜メッセージ

ジョージ・フェイリング博士

集 会 名	出席数	献金 (現金)	予約献金	献金合計
セミナー①	285名	154,642円		
②	222名	154,642円		
パネル①	271名			
②	253名			
聖会①	406名	303,980円	1,587,800円	
②	468名	376,276円	492,000円	
教師交流会	54名			
婦人大会	146名	128,470円	324,500円	
神学生交歓会	158名			
献身表明者	8名			
合 計		963,368円	2,404,300円	3,367,668円

京)報告

フェイリング博士
として開催されま
した。特に聖会は
その如く詳細な教
育です。

本日の聖句と題目は、ローマ
人への手紙八章二節の「キリス
トは私を解放した。」と言う三つ
のことばです。短いことばです
が素晴らしい広範囲にわたるキ
リストによる証しです。

キリストは私を解放してくだ
さったのです。私は罪の奴隷で
した。けれどキリストは、罪責
から私を解放してください。悪
から解放してくださいました。
これは、義認と聖化の御業です。
この事実を深く理解するために
四つの法則を知らなくてはなり
ません。

一 罪の法則

七章二〇節・二二節には、
「私のうちに住む罪」「私のから
だの中にある罪の律法」と記さ
れています。罪とは私を全面的
に支配しているものです。悪の
法則が私に感染し、悪が私を支
配しているのです。

神は人間を造られたとき、人
間を一つの軌道の中に置いてく
ださいました。そしてその軌道
の中心は神ご自身です。人間の
全生活の中心は肉体的、情緒的、
知能的にも神の回りを巡ること

なのです。ですから、神様との
完全な関係に立って軌道を回っ
ている人間を全き人と言うので
す。

ところが、サタンはもつと良
い軌道があると示唆します。そ
れは、サタンの束縛の中で、自
分を中心とした軌道を歩むこと
です。人間は罪の束縛の中にサ
タンの命ずるままを行っている
にすぎないのです。私たちの回
りの至る所で悪は支配権を握っ
ており、私たちの住む社会は誘
惑に満ちた社会です。イヴは誘
惑に負け罪を犯しました。それ
ばかりかアダムをも罪に導いて
しまったのです。私たちは罪に
対して「ノー」と言わなければ
なりません。

二 神の法則

聖書を通して私たちは神がど
のような性質の方であるかを
知ることが出来ます。神はご自
分を宣言してくださいました。

神はモーセの十戒を通してご
自身の御性格を現してください
ました。十戒は単に忠告ではな
く命令でした。私たちは、何で
も自由に選べるように思ってい

ます。しかし、神を恐れる者に
とって神の命令を守ること以外
選択の余地はないのです。これ
らの状態以上に私たちを高める
恵みの状態はありません。

神は私たち一人一人のうちに
内なる声(良心)を置いてくだ
さいました。それは私たちの内
に与えられた基準です。神の細
き御声に従順であらせていた
きましよう。

三 弱さ(肉と呼ばれるもの)の法則

肉と訳されている言葉は、肉
の性質、あるいは弱められてし
まった人間の性質を現していま
す。主の十字架を前にゲツセマ
ネの園で弟子たちは眠り込んで
しまいました。彼等は主のため
に立ち上がらなければならぬ
ときであつたにもかかわらず、
それをしませんでした。誘惑が
誘惑と分かつたとき戦わな
いならば戦いに敗れてしま
います。彼等は肉に従つてしま
ったのです。悪は私たちを支配す
るだけではなく、私たちを弱め
るものです。それは、救われた
後、きよめられた後にもこの戦

いによつからなければなりません。
私たちは弱められた人間性
を持ちながら戦わなければなら
ないのです。そして、毎日サタ
ンに対して勝利を経験しなけれ
ばなりません。従い続けるとき
神の恵みによって勝利が与えら
れるのです。

四 神の御霊の法則

神の御霊は私たちのうちに生
命を与えるものです。私たちは
自分の決断によってクリスチャ
ン生活を送るではありません。
神の御霊が内においてくださるお
陰で生きているのです。神の聖
霊が内に入り支配していただく
ことを願わなければなりません。
神が私たちのうちに働いてくだ
さるときに私たちはしなければ
ならないことをすることができ
るようになります。神が助け
てください。神の生命は奇跡を行
うことができます。神の生命が注
がれるとき私たちは弱い存在であ
っても神の生命はどのような局
面に対しても力強いのです。で
すから「私は、私を強くしてく
ださるキリストによってどんな
ことでもできるのです」。私が生
きる事ができるのは、キリス
トが私に解放(自由)を得させ
てくださいだからです。
罪に打ち勝ち、弱さを乗り越
え、キリストにあるいのちの御
霊の法則に従い勝利を得る者と
されましよう。

第6回 聖化大会(東)

東京における第6回聖化大会は、米国ウエスレアン教団のジョージ・を主講師にお迎えし、昨年10月21日(月)~22日(火)にかけて淀橋教会を会場とした。各集会ごとにそれぞれの特徴が出され、神の大きい恵みが注がれ、400名をはるかにこえる数字が与えられ、心から御名を崇めました。別勢と献金の報告表を掲げ、聖会のメッセージの概要を下記に示しておき

聖会第二夜メッセー

ジョージ・フェイリング博士

リバイバルとホーリネスとは無関係ではありません。聖霊が臨むとき、いつでもリバイバルが起こるのです。

私たちは救われ、きよめられただけでは不十分です。神の兵卒となり、悪に満ちた世界に出て行き福音を示さなければなりません。それには、私たちが、神と和解していなければなりません。神によって強められ初めて可能になるのです。

ヨハネは、全世界は悪に染まっていると言います。サタンは巧みに全世界を柔らかい住みここの良い所にしました。しかし、私たちの使命は、サタンを揺さぶることです。罪人とはサタンに領有され、サタンの好む通り、願っている通りサタンと共に働く者です。サタンはいつも神に敵対するものです。詩篇二篇一・二節を見ると、悪しき人は地上における平和を乱しているだけでなく、神のご計画に逆い神を打ち負かそうと試みているのです。イエス・キリストが洗礼を受けた後、サタンの誘惑を受けたように、私たちは救われたとき依然としてこの

世に生き続けているのです。しかし、それは神の支配のもとに神の御心に従って生きるようにされたのです。私たちが神の御心に従っているとき、神は私たちに結実豊かな者としてくださいます。神は見える必要を満たしてくださると同時に、それ以上に人々を主のもとに導く必要を満たしてください。

罪人はサタンの心のままにとられており、彼等に本当の神の恵みが働くまで、彼等は彼等なりの平安をもっているのです。その平安とは罪の快樂の中にとられて安んじている安心であり、悪の中に留まり人々を憎み続け、また攻撃的であつたりするので、罪人は多くの武装をし自分の立場を揺るがさないのです。

サタンを揺るがす者は、その人の中に入って行って人々を奪い帰すのです。罪人を揺さぶり彼らが奴隷であることを思い起こさせ、自由を得る道があることを示さなければなりません。そこにイエス・キリストがおいてになった理由があるのです。私たちが神の側にたつて立ち上がり、神と全面的に同盟を結ぶ

とき私たちは最強の人となるのです。神はイエス・キリストをよみがえらせてあらゆる権威を与えられました。事実あなたがたの内にあるキリストは世にあるものよりも偉大なのです。

ピリビにおいてパウロとシラスが投獄されたとき、彼等は祈り讃美しました。その時、より強い方が牢獄を揺さぶり牢獄の扉を開け放ち、かせを砕かれました。しかし、だれもそこから逃亡しなかつたので看守とその家族は救われたのです。パウロとシラスのこの不幸と思われる現状を神はリバイバルに変えてくださったのです。これがピリビにおける教会の始まりとなりました。では、私たちにそのようなことが可能なのでしょうか。

パウロはエペソ書六章で、「御靈の与える剣である、神のことばを受け取りなさい」と言っています。みことばの中に力があります。祈りとみことばがあると、それに打ち勝つものは何もありません。敵が洪水のように押し寄せてくるとき、主の御靈は私たちがために旗を立ててください。私たちがサタンに

挑戦して、サタンの敗北を見なければなりません。神様のなさることは敵の武装解除をなさることです。神がサタンの使おうとしていた武器を奪い取ってくださったので、もはやサタンの勝利はなくなりました。主は必ず助けてくださるお方です。勝利の秘訣は信仰です。多くの教会が勝つことができないで悩んでいるのは、立ち上がってサタンに挑戦しないからです。ユダの獅子である方が今も立ち上がってください。これこそ私たちに与えられたホーリネスのメッセージです。ですから信仰によって勝利から勝利へと進むことができます。

私たちは天国に忍び込むのはありません。勝利者の軍隊が行軍しているように、パウロと共に栄光ある凱旋の行列に加えられるのです。それまでの間、私たちが何をすべきでしょうか。

涙とともに種を蒔く者は、喜び叫びながら刈り取ろう。私たちは涙と共に種を蒔こうではありませんか、そして大いなる叫び声を上げて束を携えて帰ることができるとです。

主が約束してくださった勝利を目指して進もうではありませんか。

(聖会I、II報告・石田敏則)

地域だより

栃木ブロック聖化交友会

栃木ブロック聖化交友会は一昨年七月、栃木総会に参加していたウエスレアン系の五教会により小林和夫師（ホーリネス聖書学院院长）による発足聖会をもってスタート致しました。翌年

東海聖化交友会

東海聖化交友会・聖化大会について、今までの経緯もふり返りつつ報告させていただきます、なお一層の同志の皆様のお祈りをお願いいたします。
〈当地区の交わりの発足〉

九州聖化交友会

九州聖化交友会の第二回大会は一九九一年十一月二十日に大会、二十一日に婦人大会、セミナー、教職者懇談会、大会と五回の集会を日本ナザレン教団熊本教会において開催しました。講師

二月、葛田真実師による第一回聖会、同年八月、本間義信師による第二回聖会、いずれも満堂の恵まれた集まりでした。そして今回三月一日〜二日毛戸健二師を迎え第三回聖会を開催でき感謝にたえません。今回は場所を宇都宮

日本聖化交友会の働きかけ、呼びかけに応答する形で、本田会長を主講師にお迎えしての聖化大会第一回を開催しました。一九八八年で、その時に当地区の聖化交友会も発足いたしました。
〈その進展〉

小林和夫先生は二回の大会において詩篇八四篇「きよめの生涯と神への信頼」、詩篇八十篇「御顔の光を求めて」とセミナー「聖化の聖書神学的展望」をお語りくださいました。

「来たり給う主」を主題に聖化の恵みを語っていただき、コンセーレに出席の百十余名も、平日で遠距離にもかかわらず真岡に出席の九十六名もほとんど全員が恵みと祈りに導かれ大きな祝福をいただきました。今回の特筆すべき

例年、関東・関西で特別講師を迎えて秋にセミナーと聖会が行われてきましたが、地の利を活かして、翌八九年から、同じ講師を、当地区にもお迎えし、毎年セミナー、聖会を行って参りました。昨年、フェイリング博士により、

岸田馨先生は婦人大会においてヨハネ第一、三章一〜三節から「なぜきよめは必要か」を、教職者懇談会において日本聖化交友会の創設と現状、将来の展望についてお語りくださいました。

は参加教会姉妹方による連合聖歌隊の讚美がささげられたときよめの恵みを一同で求める中、献身者もつづのられ

秋の集いのみでなく、独自の学び会聖会をもと願っています。

二回の大会は百二十名を、婦人大会とセミナーは七十名を越える参加者で、まことに幸いな大会でありました。

両日で八名の志願者が与えられた事でした。今後も二回の予定で聖会、セミナー等開催して参ります。栃木ブロックのために、お祈り下さい。

〈今後の展望〉

（報告・杉本 俊二）

総務リポート

▼昨春秋に開催された第6回聖化大会（於東京）、また、各地の活動報告を中心とした、第13号をお手元にお届け致しました。発行時期が種々の理由で遅延しましたこと、誠に申し訳なく存じています。今年度も全国各地で「聖化」の宣証が拡大されていくことを心から期待しています。（編）

第4回札幌聖化大会

- ★日程 5月27日(木)〜28日(木)
- ★講師 小林和夫師
- ★集会 「聖会」と「教職セミナー」を各2回開催。
- ★セミナー主題
「聖化の聖書神学的展望」
(イザヤ書とローマ書から)